

元みんなの党代表・衆議院議員

# 浅尾慶一郎

収録日時：2003年



サラリーマンから地盤も看板も持たずに政界入りし、民間の目線で失業率や年金の未納問題に取り組み、当時の若き「青年局長」に聞きました。

■光永 スタンフォード大学院では、どのような勉強をされたのですか？

■浅尾 いわゆるビジネススクールです。自身は自分で会社を起こしたい時、どういう勉強、知識があつたら良いかを学ぶ事が中心です。大手の会社に入ったり、コンサルティングをする人もいますが、西海岸のシリコンバレーにありますから起業する人が多かつたです。そこで夢を語り合ひまして、起業するのも面白いけど、本当は政治家になつて日本を変える事ができたら一番面白いと思つているんだ、という話をしました。「じゃあ、やれば良いじゃない」と言われて、うちは政治一家ではないし、お金はかかるし、と説明しました。すると「3回やつてダメだったら仕事なんていくらでもある」と言われた事が記憶に残っています。彼らは基本的にやりたい事があつたらまず挑戦

してみる、という発想です。もちろん成功するようにプランを立てます。しかし人生ですから、自分でコントロールできない要因によつて、うまくいかない事もあり得るでしょう。私が政治家として一番やりたい事は、何回かやつてうまくいかない場合は別の道も用意されている、夢を見つけれられる社会を作る事です。

## 地盤も看板も持たず 戦つた参院選

■光永 そして平成10年に参議院議員になられますが、トントンと政治家になれましたか？

■浅尾 平成7年、ゴルフ帰りに読んだ新聞の中に、新進党の公募記事を見つけました。自分は地盤も看板もなく、有名でもないですが、候補者になる事なら

できるかな、と思ひました。当時はサラリーマンで、そういう試験

を受ける人があまりいなかったの、出馬しないかと言われました。何回かやつて、ダメだったら仕事はあるだろうと思ひ、平成8年に衆議院議員選挙に出ました。その時、テキストには載つてないような、選挙運動とは何かを知る事となり、平成10年には参議院議員に当選する事ができました。

無償のボランティアで、純粹に応援してください方がいて、ありがたかつたので、期待に応えたいと思ひました。中には利権を求めて寄つて来る人もいました。

■光永 先生は東京大学法学部卒業で、日本興業銀行(現みずほ銀行)に入行し、スタンフォード大学経営大学院を修了、経営学修士号(MBA)を取得するといふ、素晴らしい学歴をお持ちですが、自民党に入ろうとは思ひなかつたのですか？

■浅尾 自民党の選択肢もあつたと思ひます。私は自民党という政党を100%否定するつもりはありません。戦後の繁栄を築いた一つの要因が、自民党政治だと思つています。しかし限界に来て

おり、外交安全保障政策に大きな違いがない2大政党があつて、時々政権交代をする仕組み作りができれば良いのではないかと思つています。

## お金の地方分権を

### 進めなければ

### 地方は何もできない

取めた税金が国から直接来るような仕組みを

■光永 少し分かります。先生がそういう考えの持ち主だから、今回の神奈川県知事選で自民党からも民主党からも、市民からも沸き上がつているようです。

■浅尾 旧来型の知事のイメージである、行政の天下りでは勝てないという事があつたと思ひます。知事にできる事、国会議員にできる事、両方色々あります。「地方分権」と盛んに言われますが、例えば神奈川県は、特に

お金の地方分権が進まないといけない状況です。神奈川県は職員が8万人(5万人の教職員と1万5000人の警察官、1万5000人のその他職員)います。人件費だけで7900億円かかっています。神奈川県は5900億円ほどで、国からの税金がなければ何もできない状況です。神奈川県

の人が税金を納めていないわけではなく、国にいつばい納めてい

るんですが、それが直接神奈川県に来ないから、このような状況になるんです。まずは国に納めた税金が、直接神奈川県に入る仕組みに変えていかなければなりません。巧妙にできていて、神奈川県に居住しながら東京で働いている人は、国に税金をいくら納めているか分からないようになつて



プロフィール  
**浅尾 慶一郎**  
あさお けいいちろう

1964年東京都生まれ。栄光学園高等学校卒業後、東京大学法学部に入学。1987年、日本興業銀行に入行。1992年にはアメリカ合衆国スタンフォード大学経営大学院を修了し、経営学修士号(MBA)を取得する。1995年に新進党の候補者に選出されたため、日本興業銀行を退職。1997年、新進党の解党に伴い新党友愛の結党に参加した。1998年の参院選では民主党公認で神奈川県選挙区から出馬し、得票数トップで初当選を果たす。2009年に民主党に離党届を提出し、みんなの党の結党に参加する。2013年より、みんなの党選挙対策委員長、党幹事長に起用され、2014年には、みんなの党の第2代代表に就任する。現在、日本国際フォーラム参与を務める。